

## 毛馬第一閘門完成 110周年

国土交通省は、完成から一定期間経過した堤防やダム・放水路、砂防堰堤などの治水施設について、地域の方々との生い立ちを振り返り、その果たしてきた役割や地域の水害・土砂災害リスクについて再認識していただくための「アニバーサリー・プロジェクト」を推進しています。

毛馬第一閘門は、明治期の淀川改良工事において象徴的な施設でした。平成29年度、完成から110年を迎えたことから現地ツアーとパネル展を実施しました。

### 【概要】

- 実施日時:平成30年3月21日(水) 10:00~16:00
- 実施場所:毛馬第一閘門他
- 主 催:近畿地方整備局淀川河川事務所
- 来場者 12人

### 【事業概要・事業効果の説明の様子】

明治期の淀川改良工事では、新淀川放水路を開削し、毛馬第一閘門と毛馬洗堰が設置されました。毛馬第一閘門は、水位差のできた新淀川と大川(旧淀川)で、船舶を行き来させました。毛馬洗堰は、新淀川の本流を大川(旧淀川)と分派させ、大阪市内を洪水から守りました。昭和期に淀川大堰の設置にともない、毛馬第一閘門は昭和51年新閘門に、毛馬洗堰は昭和49年毛馬水門に、その機能を引き継ぎました。

平成20年には、毛馬第一閘門と毛馬洗堰は、淀川旧分流施設として重要文化財に指定されました。アニバーサリープロジェクトでは、毛馬第一閘門・毛馬洗堰を巡るツアーを実施し、先人の洪水との闘いと現在の治水対策を体感してもらいました。



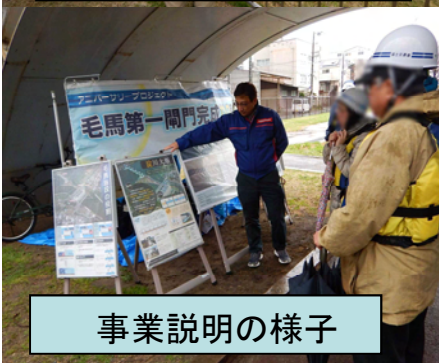
毛馬洗堰見学の様子



毛馬第一閘門見学の様子



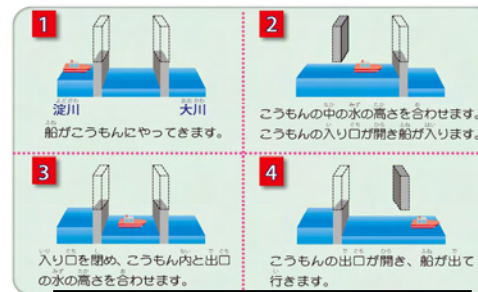
毛馬治水施設



事業説明の様子



淀川大堰管理橋通行の様子



毛馬閘門のしくみ

### 【説明を聞かれた方の声】

- ・明治に淀川を多くの船が行き来していたことは知らなかった。
- ・淀川舟運に重要な施設であることが分かった。
- ・ふだん立ち入ることができない淀川大堰の管理橋に入れて楽しかった。
- ・重要文化財が身近にあることを知らなかった。



国土交通省 近畿地方整備局  
 淀川河川事務所 (担当: 調査課)  
 電話: 072-843-2861



公式facebookページ開設

アカウント: 国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所  
 ユーザーネーム: @yodogawa.mlit